

アボリジナル・アートの文化資本化
～エミリー・ウングワレーを例として～

慶應義塾大学文学部 民族学考古学専攻

山口ゼミ4年 京墓歩惟

【発表概要】

今や、オーストラリアのナショナルアートとして知られるアボリジニアートですが、先住民族アボリジニが制作するアートは、長い間「民俗資料」としての扱い・認識を受け、芸術として認められるには時間がかかった。今回は、①アボリジナル・アートのカテゴリー形成の歴史②受容と評価の歴史③アートマーケットの歴史という3つの軸を設定し、集計した作品のデータを用いながら、アボリジナル・アート、とりわけ中央砂漠で新しく生まれたアクリル点描画がどのようにして今の地位を築き、国内外での評価を受けたのかを明らかにしていきたいと思う。また最終的に、これら3つの軸が重なり合った時、文化の資源化・資本化がどのようにして、そしてどのタイミングで行われるのかについて読み解いていきたいと考える。

【発表構成】

1. アクリル点描画の誕生
2. アボリジナル・アートのカテゴリー形成の歴史
3. 受容と評価の歴史
4. アートマーケットの歴史
5. まとめ

【参考文献】

- ・窪田幸子(2002)「ジェンダーとミッションーオーストラリアにおける植民地経験」山路勝彦・田中雅一編『植民地主義と人類学』関西学院大学出版会、p239-254
- ・窪田幸子(2007)「アボリジニ美術の変貌」山下晋司編『資源化する文化』内堀喜基光総合編集・資源人類学第二巻、弘文堂、p181-208
- ・窪田幸子(2008)「≪オーストラリアの長い沈黙≫のちー歴史とアボリジニのエイジェンシー」『文化人類学』73.3
- ・窪田幸子(2014)「アボリジニの困難と現代アボリジニアートの希望」『オーストラリア先住民と日本:先住民学・交流・表象』:244-264
- ・渡辺文(2014)「芸術、文化、ローカリティの共謀ーオセアニアの現代芸術」『オセアニア芸術ーレッド・ウェブの個と集合』京都大学学術出版会、p29-73
- ・ハワード・モーフィー(2003)、訳:松山利夫『岩波-世界の芸術-アボリジニ芸術』岩波書店
- ・図録『エミリー・ウングワレー展-アボリジニが生んだ天才画家』読売新聞東京本社(2008)

表1 オーストラリアの歴史

時期	出来事
1770年	キャプテン・クックによりオーストラリア大陸が発見される
1787年	英国王ジョージ3世が流刑地としてのオーストラリア植民地設営を公示（1月22日）
1788年	英国第1団が到着→植民地化
1790年	英国第2船団「ジュリアナ号」到着
1792年	インドや中国との貿易が開始（主な輸出品はナマコ、アザラシの皮と油、クジラの骨と油）
1820年～1830年代	羊毛輸出が発展
1851年	ゴールド・ラッシュにより移民者が急増
1901年	オーストラリア連邦が成立し、イギリスから独立
1909年	アボリジニ保護法が成立→保護委員会が政府の政策として子供の引き離しを始める（盗まれた世代問題へ）
1938年	シドニーでアボリジニの市民権を求める大規模集会在開かれる
1951年	同化・統合政策施行（～1972年まで）
1959年	Papunyaがオーストラリア政府によって成立
1960年代	アボリジニの人権回復運動、土地権運動が始まる
1962年	法律が修正され、アボリジニに選挙権が保障される
1967年	国民投票において90%以上の賛成で、憲法から「アボリジニを除く」という一文が削除される →オーストラリア国民と同じ権利を獲得する
1969年	保護委員会解散
1971年	PapunyaにGeoffrey Bardonが赴任してくる（Papunya Art Movement）
1972年	・自主決定・自主管理政策が開始 ・アボリジニアート委員会が設立（Aboriginal Art Board） ・アボリジニの権利獲得運動開始 ・アボリジニ問題省設立
1976年	北部準州でアボリジニ土地権法の成立（地域限定ではあったが初めて土地権が認められた）
1977年	自己管理政策が開始
1978年	初めてアクリル点描画の寄付がサウスオーストラリア美術館で受け取られる
1981年	国内巡回展「アボリジナル・オーストラリア・アート」が開催される →初めてアクリル点描画が展示作品に構成された。都市アボリジニの作品は扱われず
1985年	Warlukurlangu Artists Aboriginal Corporationが設立
1988年	アメリカで巡回展「ドリーミング」展が開催される →アクリル点描画の扱いは大きくなり、カタログでは都市アボリジニのアートも紹介される
1989年	メトロポリタン博物館によって『Tingari Cycle Dreaming』が購入される →国際機関によって購入された初めてのPapunyaのキャンバス画
1991年	和解委員会の結成
1992年	日本で「クロスロード」展が開催される オーストラリア最高裁判所が「Terra Nullius」問題を棄却し、土地の所有権はアボリジニにあるとした。
1993年	ヨーロッパで「アラチャラ」展が開催される →都市アボリジニアートも展示構成に組み込まれる 先住権原法の成立 国際的美術出版社Thames&Hudsonから『Aboriginal Art』が出版される
1995年	「盗まれた世代」についての国家調査委員会を設立（1997年に報告書提出）
1996年	アボリジニアートオークション専門部門が発足
2006年	国立民族博物館で企画展「One Road：現代アボリジニアートの世界」が開催される
2007年	先住民族宣言が採択される
2008年	当時の首相Kevin・Ruddが過去のアボリジニに対する不当な政策を公式に謝罪した 国立新美術館で「エミリー・ウングワレー展」が開催される

表2 ウングワレー作品の所蔵美術館名と作品点数

所蔵美術館名	作品点数	所蔵美術館名	作品点数
Artnet	623	Collection of Ann Lewis	2
COOEEART	51	American Federation of Art	1
Private Collection	39	Collection of Essel Museum Klosterneuburg	1
Delmore Gallery	29	Museum Board of Victoria	1
National Gallery of Victoria	26	Mbantua Gallery	1
Utopia Art Sydney	25	Lawson-Menzies Collection	1
The Holmes a Court Collection	17	Gagosian	1
Wentworth Galleries	9	Fred Torres Collection	1
Art Gallery of New South Wales	7	Collection of the Powerhouse Museum	1
Smith Davidson Gallery	6	Collection of the Newcastle Region Art Gallery	1
Salon 94	4	Collection of Sir Elton John	1
Queensland Art Gallery	4	Collection of Simon and Julie Ford	1
National Gallery of Australia	4	Collection of Sara de Maine Kearns	1
Museum of Contemporary Art Australia	3	Collection of Phillip and Jenny Lawrence	1
Laverty Collection	2	Collection of John and Annie Bullen	1
Gallery Gabrielle Pizzi	2	Collection of Ian Gunn	1
Ebes Collection	2	Collection of Flinders University Art Museum	1
Collection of Stephen Bush	2	Collection of Amanda Howe	1
Collection of Judith and Ron Behan	2	Collection of Allens Arthur Robinson	1
Collection of James Mollison AO	2	Collection of Essel Museum Klosterneuburg	1

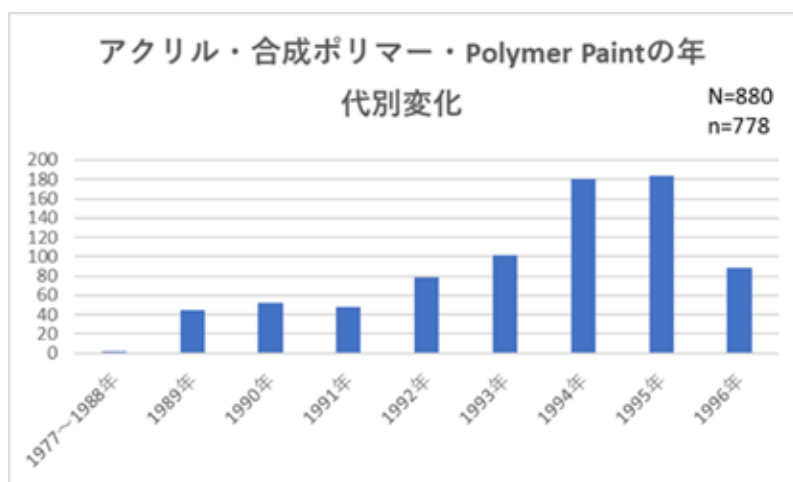


図2 ウングワレー作品における合成ポリマーの点数変化

表3 カタログ名と詳細

カタログ名	発刊年	説明図	説明文	詳細
Aboriginality: Contemporary Aboriginal paintings&prints	1989	×	○	作品に1つ1つに関する説明というよりは、作者一人ひとりに焦点を当て、作者の背景を説明している
The Inspired Dream~Life as art in Aboriginal Australia~	1988	×	○	1つ1つの作品の横に記号解釈と、ドリーミングの説明がある
UTOPIA A Picture Story <88 silk batik from The Robert Holmes A Court Collection>	1990	×	○	1つ1つの作品の横に説明が英語とアボリジナルの言葉Anmatyerre/Alywarreで書かれている
Contemporary Aboriginal Art from the Robert Holmes a Court Collection	1990	×	×	作品の説明はなし。アートの歴史についての解説がキュレーターのコメントとして掲載されている
Abstraction	1990	×	×	作品に関する説明なし。カタログというより小冊子のような形式
ABORIGINAL WOMAN'S EXHIBITION	1991	×	○	記号の解釈のみ掲載。ドリーミングについての説明はなし
FLASH PICTURES BY ABORIGINAL AND TORRES STRAIT ISLANDER ARTISTS	1991	×	○	作品の説明は1点ずつではなく、まとめてされている
Joan and Peter Clemenger Triennial Exhibition of Contemporary Australian Art	1993	×	×	作品に関する説明なし。カタログというより小冊子のような形式
PAINTED DREAMS Western Desert Paintings from the Johnson Collection	1995	○	○	作者の出生地や経歴を踏まえたうえで、ドリーミングの背景から記号解釈まで詳しく載っている
Emily kame Kngwarreye, Alhalkere, Paintings from Utopia	1998	×	○	作品の説明はなし
EARTH'S CREATION The Paintings of Emily Kame Kngwarreye	1998	×	×	作品の説明はなし
Papunya Tula: Genesis and Genius	2000	×	×	アーティスト1名へのインタビューと10名の寄稿が掲載。作品についての説明はなし
Fieldwork: Australian Art 1968-2002	2002	×	○	作品の説明については数点のみで、記号解釈ではなく、制作までの過程とドリーミングについて記載。
Emily kame Kngwarreye Utopia: the Genius of Emily kame Kngwarreye	2008	×	×	選ばれた数点の作品の横に、説明書きが英語と日本語で書かれている
One Road現代アボリジニアートの世界	2016	○	○	説明図を使用し、その下に描かれている記号を詳しく説明している



図3 カタログ注釈図

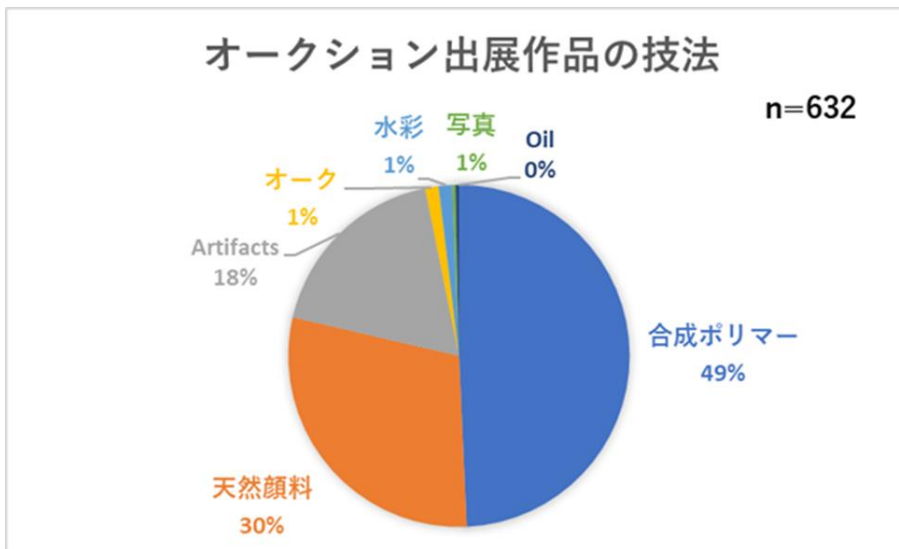


図4 オークション出展作品の技法

表3 サザビーズにおける過去の最高落札作品リスト

開催年	場所	予想取引額の幅	最高額	落札作品詳細
2020	New York	2,000 – 250,000USD	189,000USD	Emily kame Kngwarreye 「SUMMER FLOWERS II」
2019	New York	3,000 – 450,000USD	596,000USD	Emily kame Kngwarreye 「SUMMER CELEBRATION」
2018	London	1,000 – 300,000GBP	309,000GBP	Emily kame Kngwarreye 「KAME - SUMMER AWELYE II」
2016	London	1,000 – 150,000GBP	251,000GBP	Benedict Palmeuia Munkara 「UNTITLED, MALE AND FEMALE FIGURES OF PURUKAPALI AND BIMA」
2015	London	1,500 – 80,000GBP	100,000GBP	Emily kame Kngwarreye 「WILD YAM II」
2009	Melbourne	500 – 250,000AUD	300,000AUD	Emily kame Kngwarreye 「Untitled」